



## 見て 真似て 運動会の取組

園長 立石 晃子

園門には彼岸花が咲きました。「暑さ寒さも彼岸まで」との言葉を信じ、酷暑が収まることを期待していましたが、ようやく朝夕の風に秋が感じられるようになってきました。

園では、年間の大きなイベントの一つである運動会が近づいています。「友達や大人と一緒に体を動かすことを楽しむ」ということが大きな目的になります。コロナ禍、その上今夏の酷暑のため、子供たちや大人の体を動かす機会が激減してしまっています。そのような中、園では子供たちが自分のペースで、体を動かすことに興味関心がもてるように工夫しています。工夫のポイントが「見る」「真似る」です。

今年度、年長ばら組と年中たんぽぽ組は一緒にバルーンを行います。先に年長組の子供たちがバルーンを取組を始めました。どんな技があったか思い出したり、友達と動きを合わせて行わないとバルーンの技が成立しないことなどに気付いたりしながら活動をしていました。その後、年中組の子供たちがバルーンを取組に加わりました。年長組のバルーンの掴み方や押さ



え方、技の名前、技の決め方などを年中組の子供たちは真剣に見ていましたので、いざ自分たちとなったときに真似て技に取り組み、同じようにできた喜びを感じていました。別の日、年長組が開会式の練習をしていました。前の時間に玉入れをしていた年中組の子供たちはその場に残って年長組の様子を見ていました。年長組がプラカード係を先頭に、腕を振って行進する姿をじっと見ていた年中組の子供たち。「たんぽぽぐみさんもやってみる？」と声を掛けられるとすぐに列に並び、年長組の様子を真似して行進をしていました。年長組の姿を「見て」格好いい、同じようにやってみたい、といった気持ちを持ち、「真似る」ことにつながっていました。

子供たちの体は心と連動しています。心を動かすのはイメージです。具体的な友達の様子を見ることが体を動かす動機付けになります。そして子供にとって苦手なこともあります。やらないからといってやりたくないわけではありません。「見る」「真似る」時間と場を保障することで動く一歩を踏み出すことができます。日々このような体験をしてきた子供たちを想像しながら、当日の運動会を楽しんでいただくと嬉しいです。

## 楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

### < 3 歳もも組 >

#### 運動会！もも組らしく楽しもう！！

二学期が始まりました！！もも組の子供たちは久しぶりの幼稚園に喜びを感じ、自分から友達に関わりをもとうとする姿を見て、期待の気持ちが育っているのを感じました。

今年のなかよし会は久しぶりに祖父母の方をお招きして行うことができました。「おじいちゃんおばあちゃんにプレゼントしようね」と伝えると、当日、早く来ないかな、と入口で待っている姿もありました。歌のプレゼントも元気いっぱいに歌い、部屋ではもも組が普段している好きな遊びで一緒に遊んでもらいました。

みんなで一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。10月はいよいよ運動会があります。年中児や年長児と一緒に体を動かしたり練習する姿を見せてもらい、「自分たちもやりたい」とバールンやリズムをしている姿に憧れを抱いたりして、教師や友達と一緒に楽しく運動会に参加できるように取り組んでいきます。

### < 4 歳たんぼ組 >

#### 「かわいい！」「かっこいい！」「楽しそう！」の運動会へ！

様々な経験をして、楽しいエピソードをたくさんもって二学期が始まり、うれしそうに、分かるように話をする子供たちの姿に、「伝えたいことを言葉にする」ということの大きな成長を感じました。「伝えたい！」を大事にしなが、過ごしていきます。

たんぼ組は、猫が大好きな学級！いつも猫ごっこを楽しむ子供たちのところに、ねこちゃんから手紙とCDが届き、お気に入りになった曲で楽しく踊っています。一人ひとりの楽しそうな姿も大事にしつつ、年中として、動きがそろうことも意識できたらと思い、話してみました。すると、子供たちから、「かっこいい、じゃなくて、かわいいがいい」という声が上がっていました。「かっこいい」「かわいい」「ニコニコして楽しそう」など、それぞれが見られたい姿を表現する、そんな楽しさあふれる運動会にしていきたいですね。そして、年長組がしていることにも目を向けていきながら、憧れたり、来年に期待をふくらませたり、実り多い運動会にしていきたいです。

### < 5 歳ばら組 >

#### めざせ！「かっこいい運動会！」

2学期がスタートして1か月。幼稚園最後の運動会に向けみんなで取り組んでいます。幼稚園で1番大きな年長組として、「もも組や困っている人を助け」ながら、「みんなが笑顔」で「元気いっぱい」な運動会を目指して取り組んでいます。「かっこいい」姿を見てもらうために、「練習を頑張り」と話し合いました。前述の「」はどれも、ばら組の子供たちから出てきた発言です。昨年度の運動会を思い出したり、写真を見たりしながら、必要なことを考えて準備してきました。

遊びの中でも友達と誘い合ってリレーや障害物走に取り組む姿も見られます。リレーやリズムでは、チームやグループの友達と考えを出し合いながら取り組んでいます。それぞれの得意なことや苦手なことを受け止め、助けたりアドバイスをしたり、協力し合いながら取り組もうとしています。一人ひとりの頑張っている姿やその過程を十分に認めて自信につなげ、他学年との交流に活かしたり、小学生との交流とも合わせて就学への期待につなげたりしていきます。